

文 部 省 檢 定 濟

昭和五年十一月十四日 高等女學校音樂科用

高等女學校
音 樂 教 科 書

渡 邊 彌 藏 共 編
山 本 壽

5

東 京 ・ 寶 文 館 ・ 大 阪

樂 の 音

Andante con moto

Henry Bishop

mf

(一) タノヘ マチの なか ツグ ナル の アシ ミし ら シノ ヲの な オト ね び カカ か

(二) ちぐさ の なか ツグ ナル の アシ ミし ら シノ ヲの な オト ね び カカ か

(一) { タノヘ マチの なか ツグ ナル の アシ ミし ら シノ ヲの な オト ね び カカ か }
 (二) { ちぐさ の なか ツグ ナル の アシ ミし ら シノ ヲの な オト ね び カカ か }

(一) { ア ア タノヘ マチの な オト ね び カカ か }
 (二) { あ あ ちぐさ の なか ツグ ナル の アシ ミし ら シノ ヲの な オト ね び カカ か }

mp

トホクヒ ツク ク コトノ シラ ベ ア
 タエテツク び くの ふ え の し ら べ あ

カカ か タエテツク び くの ふ え の し ら べ あ

mp アラ シ オ ト カカ トホクヒ ツク び
 シツノ オ ト カカ タエテツク び
 むし の なか ツグ ナル の アシ ミし ら シノ ヲの な オト ね び カカ か

mf アア キケ タヘナ ル ソノネヲ
 ああ きけ たへなる そのねを

mf キケ タヘナ ル ネヲ
 きけ たへなる ねを

mf キケ ソノネヲ
 きけ そのねを

樂 の 音 (二)

Coda
pp cresc.

タレノス サ ビ カソノ シラベハ
 たれのす さ び かその しらべは

mp

タレノス サ ビ カソノ シラベハ
 たれのす さ び かその しらべは

pp

タレノス サ ビ カソノ シラベハ
 たれのす さ び かその しらべは

p cresc.

タレニキケヨ ノコト ノネカ ツキテ
 たれにき けよ のふえ のねか ふみよ

タレニキケヨ ノコト ノネカ ツキテ
 たれにき けよ のふえ のねか ふみよ

ハ コトノ ネカ ツキテ
 は ふえの ねか ふみよ

ル ヨスガラ マクラニ カヨヒテ
 むよすがら つくゑにかよひて

ル ヨスガラ マクラニ カヨヒテ
 むよすがら つくゑにかよひて

ル ヨスガラ マクラニ カヨヒテ
 むよすがら つくゑにかよひて

樂 の 音

犬 童 球 溪

(I)

(I. Soprano)

尾の上の松の 嵐の音か 遠くひびく 琴の調べ
ああ ああ 聴け妙なる その音を。

谷間をくぐる 清水の音か 絶えてつづく 琴の調べ
ああ ああ きけ妙なる その音を。

誰れのすさびか その調べは たれに聴けよの 琴の音か
月照る夜すから 枕に通ひて。

(II. Soprano)

尾の上の松の 嵐の音か 遠くひびく 琴の調べ
聴け 妙なる音を。

谷間をくぐる 清水の音か 絶えてつづく 琴の調べ
聴け 妙なる音を。

誰れのすさびか その調べは たれに聴けよの 琴の音か
月照る夜すから 枕に通ひて。

(Alto)

ああ 尾の上の松の 嵐の音か 遠くひびく きけ其の音を。
ああ 谷間をくぐる 清水の音か 絶えてつづく
きけその音を。

誰れのすさびか その調べは
琴の音か 月照る夜すから 枕に通ひて。

樂 の 音 (續き)

(II)

(I. Soprano)

千草の中の 蟲の鳴く音か 遠くひびく 笛の調べ
ああ ああ 聴け妙なる その音を。

とわたる雁の 空の叫びか 絶えてつづく 笛の調べ
ああ ああ きけ妙なる その音を。

誰れのすさびか その調べは たれに聴けよの 笛の音か
書讀むよすがら 机に通ひて。

(II. Soprano)

千草の中の 蟲の鳴く音か 遠くひびく 笛のしらべ
聴け 妙なる音を。

とわたる雁の 空の叫びか 絶えてつづく
笛の調べ きけ妙なる音を。

誰れのすさびか その調べは たれに聴けよの 笛の音か
書讀む夜すから 机に通ひて。

(Alto)

ああ 千草の中の 蟲の鳴く音か 遠くひびく きけその音を。
ああ とわたる雁の 空の叫びか 絶えてつづく
きけ その音を。

誰れのすさびか その調べは
笛の音か 書讀む夜すから 机に通ひて。

THE LINDEN-TREE

(附 録)

Moderato

Fr. Schubert

(1.) By the well be-fore the door-way There
 (3.) To — day I now must wan-der All
 (5.) The — cru — ei winds were blow-ing So

stands a lin-den-tree, How oft be-neath its
 thro' the deepest night; I pass'd it in the
 cold-ly in my face, my hat was borne be-

shad-ow Sweet dreams have come to me; (2) Up-
 dark-ness, I screu'd it from my sight. (4) The
 hind me, I sped with quick-er pace. (6) Now

on its bark when musing Fond words of love I
 branch-es rust-led gent-ly As if they spoke to
 man-y leagues I'm far from The dear old lin-den

made, And joy a-like and sor-row Still
 me: Come here, be-lov'd com-pan-ion, Here
 tree, I — ev-er hear it, mur-mur; "Peace

drew — me to its shade, Still
 peace — shall smile on thee. Here
 thou — wouldst find with me." "Peace

drew — me to — its shade.
 peace — shall smile — on thee.
 thou — wouldst find — with me."

文 部 省 檢 定 済

昭和五年十一月十四日 高等女學校音樂科用

昭和四年九月二十五日印刷
 昭和四年九月二十八日發行
 昭和五年十一月一日訂正再版印刷
 昭和五年十一月四日訂正再版發行



不 復
 許 製

高等女學校音樂教科書

卷 號	定 價
1	金 五 拾 貳 錢
2	金 五 拾 貳 錢
3	金 五 拾 錢
4	金 五 拾 四 錢
5	金 五 拾 五 錢

編 者 渡 邊 彌 藏
 山 本 壽

發 行 者 大 葉 久 吉
東京市日本橋區本町三丁目十四番地

發 行 兼 者 柏 佐 一 郎
大阪市西區阿波堀通四丁目二十番地ノ一

發 兌

大阪市西區阿波堀通四丁目 株式 大阪寶文館
 神戸市元町通五丁目 會社
 小倉市京町一丁目

東京市日本橋區本町三 株式 寶 文 館
 會社